



## ◆生育状況について JA管内 川中島白桃

本年の結実状況は、

	発芽	開花	満開	落花
平年	3/25	4/13	4/20	4/28
令和8年	3/28	4/8	4/12	4/20
令和7年	3/26	4/14	4/20	4/26
令和6年	3/31	4/12	4/18	4/25

## ◆当面の重点作業について

1. 凍害発生状況を確認する。発芽は貯蔵養分で動き始めるが、凍害に遭った樹は、徐々に樹勢が低下し、枯死にいたるため、6月頃までは樹体をよく観察する。
2. 結実状況を確認し、予備摘果を進める。併せて、灰色かび病対策として、果柄部のがく片を落とす。
3. ネクタリンの袋かけは、第5回薬剤散布終了後から始め、5月末頃迄に終了させる。
4. 薬剤散布を適期に実施する。

## ◆品質向上・苦土補給対策について

品質向上として、必要に応じて、下記葉面散布肥料を散布する。

1. 使用時期：第5回薬剤散布に混用使用（単用使用してもよい）
2. 使用資材：調合量1000当り

### 【品質向上対策】

資材名	使用倍率	調合量
オルガミン	1,000倍	100mℓ
ケルパック66	5,000倍	20g
友果	500~1,000倍	200~100g

+

資材名	使用倍率	調合量
リーフマグ	1,000倍	100g
グリーントップ70	500倍	200g

## ◆マンガン欠乏対策について

ももネクタリンに発生しやすいマンガン欠乏対策として、必要に応じて、下記葉面散布肥料を散布する。

1. 使用時期：5~6月に2~3回単用使用
2. 使用資材：調合量1000当り

### 【品質向上対策】

資材名	使用倍率	調合量
グリーンデイズ	500倍	200g
硫酸マンガン	250倍	400g

## 【もも・ネクタリン薬剤防除】

### ◆第5回薬剤散布について

1. 散布時期：5月8日（金）～12日（火） 実際散布月日 月 日
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：450ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	もも 収穫前	初刈 収穫前	病害虫
固着性展着剤アビオンE	1,500倍	66ml	—		—
トランスフォームフロアブル	2,000倍	50ml	7日	3日	クワコナカイガラムシ・アブラムシ類
コロナフロアブル	400倍	250ml	前日		うどんこ病・黒星病
ICジंक水 和剤	1,000倍	100g	発病前～発病初期		せん孔細菌病

### 3. 散布上の留意事項

- 1) アビオンEに代えて、K.Kステッカー3,000倍（水100ℓ当り33ml）を使用してもよい。  
この場合、必ずK.Kステッカーは、最後に混用する。
- 2) コロナフロアブルに代えて、イオウフロアブル500倍（水100ℓ当り200ml）を使用してもよい。
- 3) ICジंक水 和剤は、高温時等に葉の薬害が発生する場合があります。
- 4) せん孔細菌病対策として、第5回・6回の中間で、展着剤ササラ3,000倍（水100ℓ当りに33ml）+クプロシールド1,000倍（水100ℓ当りに100g）+クレフノン100倍（水100ℓ当りに1,000g）を特別散布してもよい。

### ◆予備摘果について

摘果は早く行なうほど果実肥大の効果は高い。しかしながら、生理落果や核割れ果を生じるので摘蕾・摘花・予備摘果・本摘果・袋掛け時に見直し摘果をする段構えの着果管理が品質管理に重要。

1. 満開後20日頃になると、生理落果する果実は果面の一部が茶緑色になり生気を失う。満開後30日頃までに自然落果する。
2. 受精果（落果しない）は、がく片が基部から離れ萎びてくる。
3. 時期が遅れると果実肥大効果が少なくなり、果柄が硬くなり取れにくくなる。
4. 摘果開始時期の目安は、結実良好品種（あかつき、なつっこ等）は、満開後20日頃（5月初旬頃）から。
5. 結実不安定品種（川中島白桃、秀峰等）は、満開後30日頃（5月中旬頃）から。川中島白鳳は最後にする。

※凍霜害被害等により結実量が特に少ない場合は、樹勢調節と生理落果抑制のため仕上摘果を主体にする。

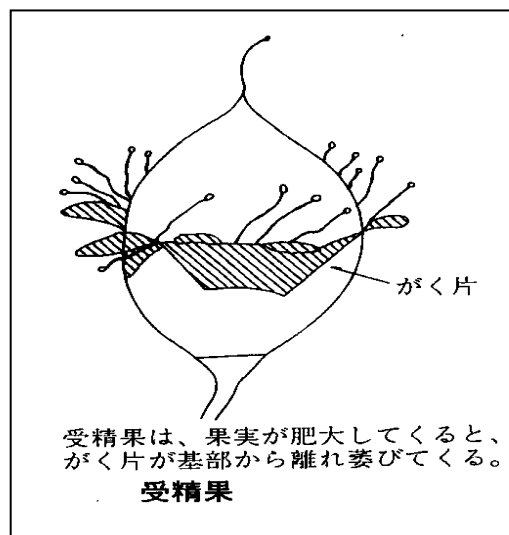
### 6. 着果量と着果位置

#### 1) 仕上げ摘果の倍の量が基準

- ①長果枝（30cm以上） ⇒中央から先端に4～5果
- ②中果枝（30～10cm） ⇒先端側に2～3果
- ③短果枝（10cm以下） ⇒先端に1果

#### 2) 留意点

- ①本摘果の倍量を残す。
- ②大きくて扁平な果実を残す。
- ③小さい果実、奇形果、病害虫被害果を落とす。
- ④同節に2果着生しているものは1果にする。
- ⑤葉芽がある果実を残す。
- ⑥側方から下向きの果実を残す。
- ⑦主枝や亜主枝上の果実や結果枝の基部の果実は落とす。

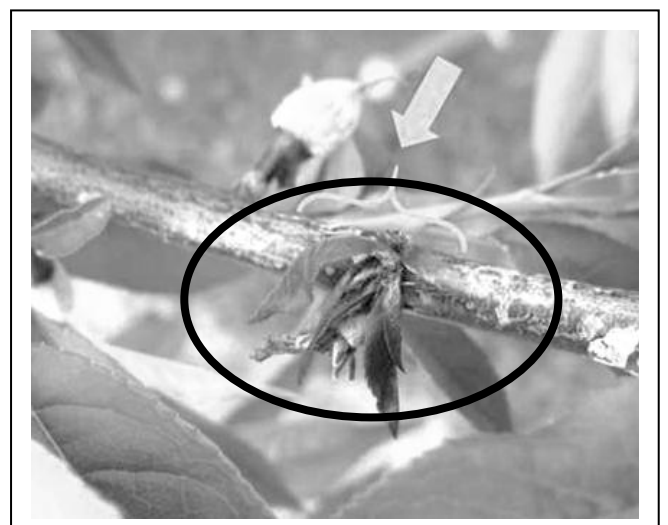
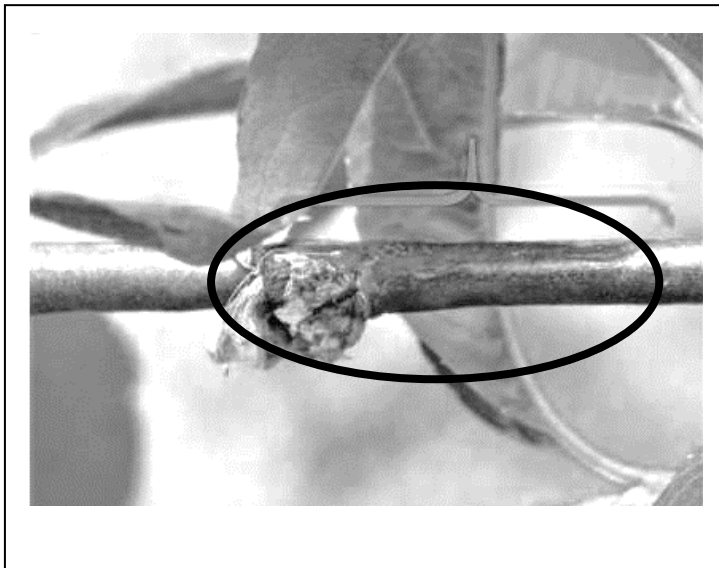


## ◆せん孔細菌病対策について

落花期より春型枝病斑の発生が散見されている。園地により状況が異なるが、果実被害に至ると商品化率に大きな影響を及ぼし収量に影響するため、甚大な被害にならないよう対策を徹底する。

### 1. 春型枝病斑と葉への感染症状の特徴

- 1) 春型枝病斑は開花期頃から現れ、芽基部がやや陥没し、薄い黒褐色を呈する。5月中旬頃には黒色の典型的な病斑となる。枝病斑は芽基部に発生し、陥没してひび割れる。ヤニを噴出することもある。
- 2) 枝先端に花腐れ・枝枯れしている場合は、灰星病の可能性も高いが、せん孔細菌病である事もある。
- 3) 葉では、はじめに葉脈で区切られた不整形の斑点ができ、淡褐色～紫褐色の斑点となり、やがて病斑部分が乾いて抜け落ち、不整形の穴になる。



### 2. 耕種的防除の徹底

- 1) 春型枝病斑の剪除がもっとも重要になる。できるだけ、早く剪除し感染拡大防止を行う事で、かなり被害を軽減できる。
- 2) 発病は6月までだらだらあるため、2～3回程度に分けて、園内の巡回し病斑切除を行う。
- 3) 剪除する場合は、発生部位より枝基側数芽含めて実施する。

## ◆仕上摘果及びせん孔細菌病・灰星病対策講習会の開催について

下記日程により講習会を開催致します。都合のよい会場にご参加下さい。

開催日	曜	集合時間	集合場所	担当
5月11日	月	午前 9:00	松代 五明秀樹様園	伊藤
5月11日	月	午前 9:00	川中島 南原 杉山一男様園	松橋
5月11日	月	午前 9:30	更北 本道 宮沢雄彦様園	根津
5月11日	月	午前11:00	川中島 今井公民館裏	松橋
5月11日	月	午前11:00	更北 梵天 小山慎吾様園 (昨年と同じ)	根津
5月11日	月	午後 1:30	篠ノ井 東横田公民館	徳武
5月11日	月	午後 1:30	篠ノ井 小森 宮本芳樹様園	外谷
5月11日	月	午後 1:30	川中島 北原 飯島いえ様園	松橋
5月11日	月	午後 2:00	更北 青木島 小山博様園	根津
5月11日	月	午後 3:00	篠ノ井 上組 島田栄一様園	外谷
5月11日	月	午後 3:30	川中島 御厨 河島茂雄様園	松橋
5月12日	火	午前11:00	篠ノ井 岸田公夫様園 (塩崎)	徳武
5月12日	火	午前 9:00	川中島 本町 林今朝広様園	松橋
5月12日	火	午前 9:30	若穂 川田 若穂宮農資材センター南側	寺澤
5月12日	火	午前11:00	川中島 平井組 大屋俊一様園	松橋
5月13日	水	午前 9:00	川中島 阿弥陀堂 内村司様園	松橋
5月13日	水	午前 9:30	篠ノ井 中沢 北村政一様園	外谷
5月13日	水	午前11:00	篠ノ井 西寺尾杵淵火の見	外谷
5月13日	水	午前11:00	川中島 今里公園集合	松橋
5月13日	水	午後 1:30	川中島 四ツ屋公民館前	松橋
5月13日	水	午後 2:00	篠ノ井 西寺尾 倉田健治様園 (旧西寺尾支所集合)	外谷
5月13日	水	午後 3:30	川中島 荒屋 風とみどりの会園	松橋